

指定管理者評価票（令和元年度分）

全般的事項

施設名称：瑞穂町シルバーワークプラザ

担当部課係：福祉部 高齢者福祉課 高齢者支援係

1 指定管理者の名称	公益社団法人瑞穂町シルバー人材センター
2 指定管理の期間	平成28年4月1日から令和3年3月31日まで 5年間
3 指定管理の目的及び求める効果	ワークプラザが高年齢者の就業を促進し、高年齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与するというワークプラザの設置理念に基づき、管理運営を行うことを目的とする。
4 指定管理の業務内容	1 ワークプラザの管理運営に関すること 2 条例で規定されている設置目的を達成するための事業実施に関すること 3 その他町長が必要であると認める業務
5 施設の概要	
(1) 施設及びサービスの内容	高齢者就業相談、各種教室の開催等
(2) 規模	敷地面積 2,488.70㎡ 建築面積 802.82㎡ 延床面積 736.44㎡
(3) 設備内容	相談室、事務室、作業室、印刷室、会議室、車庫兼倉庫 外
(4) 設置年月及び経過年数（導入時）	平成18年1月完成 （導入後14年経過）
(5) 建設費用	150,002,265円 内訳 設計費2,688,000円、監理費3,150,000円、 工事費141,496,950円、備品費2,667,315円
(6) 大規模改修の経緯と費用	実績なし
(7) 維持補修・改修の予定及び時期	維持補修 随時実施 改修 随時実施
6 指定管理における具体的な目標	
(1) 利用者へのサービス水準の向上目標	近隣のシルバー人材センターと情報交換を行い、サービス向上につながるものについては積極的に取り入れ、質の充実を図る。
(2) 運営の効率化に関する目標	高齢者ならではの視点に基づき、清潔で快適な利用環境の構築を目指す。
(3) 施設維持管理費に関する削減目標	実際の管理業務に係る収支状況を勘案のうえ管理経費の見直しを的確に行い、消耗品購入等の見直しや事務処理の効率化等に努める。
(4) その他の目標	施設管理においてトラブルを未然に防ぎ、また発生した場合は迅速に誠意をもって対応する。
7 モニタリング（利用者の意見把握）の内容	窓口を中心に、常時来所者や会員とのコミュニケーションをとり、意見・要望の把握を行っている。

指定管理評価票（令和元年度分） 個別項目・総括

施設の名称： 瑞穂町シルバーワークプラザ

担当部課係： 福祉部 高齢者福祉課 高齢者支援係

業務評価指標

		前指定末 (H27)	H28	H29	H30	R1	R2	
協定書・仕様書で示した事項	ワークプラザの管理運営	241	242	244	244	240		日/年
	設置目的を達成するための事業実施（相談数）	59	66	65	65	56		件/年
開館日数等 (条例で示した施設目的の達成度)	条例で示した開館日数	241	242	244	244	240		日
	実開館日数	241	242	244	244	240		日
維持管理状態	受付対応人員（常駐）	5	6	6	6	6		人
	日常清掃	241	242	244	244	240		日/年

インプット指標（行政資源（歳出・人・物）の投入量）

		前指定末 (H27)	H28	H29	H30	R1	R2	
指定前の管理経費（町支出）または指定管理料（委託料）		1,352,000	1,352,000	1,332,000	1,332,000	1,332,000		円
指定前の管理経費（町支出以外）または指定管理料以外の支出金額		0	0	0	0	0		円
職員の投入実態		0	0	0	0	0		円 (時間*人/週)
物品の提供実態		0	0	0	0	0		円
インプット指標合計		1,352,000	1,352,000	1,332,000	1,332,000	1,332,000		円
提供物品の名称と数量：		0	0	0	0	0		

アウトプット指標（事業の活動量、活動実績）

		前指定末 (H27)	H28	H29	H30	R1	R2	
施設延べ利用者数		1,774	2,325	2,344	2,506	2,186		人/年間
実利用者内訳 ※H26より利用者数、会員数の記載に変更	利用者数	1,774	2,325	2,344	2,506	2,186		人/年間
	会員数	506	488	491	453	454		人/年間
施設稼働率 (施設稼働日数及び貸出日数)	貸出日数	241	242	244	244	240		日/年
	稼働日数	241	242	244	244	240		日/年
	稼働率	100%	100%	100%	100%	100%		
利用料収入		0	0	0	0	0		円
その他収入	事務所家賃 *	0	0	0	0	0		円
	事務所光熱水費 *	0	0	0	0	0		円
		0	0	0	0	0		円
	計	0	0	0	0	0		円

※ 指定管理者が管理の範囲を超えて事務所を使用する場合の室料、光熱費等を計上する。

業務収支

収入の部		前指定末 (H27)	H28	H29	H30	R1	R2	
指定前の管理経費（町支出）または指定管理料		1,352,000	1,352,000	1,332,000	1,332,000	1,332,000		円
指定前の管理経費（町支出以外）または公的援助		0	0	0	0	0		円
利用料収入		0	0	0	0	0		円
その他収入		0	0	0	0	0		円
収入の部 合計	算定	1,352,000	1,352,000	1,332,000	1,332,000	1,332,000		円
	実収入	1,352,000	1,352,000	1,332,000	1,332,000	1,332,000		円

支出の部		前指定末 (H27)	H28	H29	H30	R1	R2	
光熱水費 電気料		580,477	512,414	559,226	597,873	642,883		円
上下水道料		113,201	93,313	90,653	92,316	87,194		円
消防設備点検委託料		70,200	14,040	14,040	14,040	14,170		円
自動ドア点検委託料		75,600	75,600	75,600	75,600	76,300		円
建物保険料		20,519	20,519	21,258	21,258	21,258		円
エアコン空調点検		356,400	356,400	356,400	356,400	359,700		円
修繕費 ※H26より一括計上。内容は「その他」項目の修繕費参照		12,960	669,600	6,480	0	13,200		
消耗品費（AEDパドル交換・消火器交換）		25,898	23,544	24,408	0	0		円
支出の部 合計		1,255,255	1,765,430	1,148,065	1,157,487	1,214,705		円

収支差引	算定	96,745	-413,430	183,935	174,513	117,295		円
	実収支	96,745	-413,430	183,935	174,513	117,295		円

指定管理者自己評価 ※平成24年度分より追加

コスト削減に対する取組み	前指定末 (H27)	・待機電力のカット（未使用機器のコードを抜く）【継続】 ・冷暖房の温度設定励行【継続】 ・カーテンによる日よけ及び冷房効果アップ【継続】
	H28	・待機電力のカット（未使用機器のコードを抜く）【継続】 ・冷暖房の温度設定励行【継続】 ・カーテンによる日よけ及び冷房効果アップ【継続】
	H29	・待機電力のカット（未使用機器のコードを抜く）【継続】 ・冷暖房の温度設定励行【継続】 ・カーテンによる日よけ及び冷房効果アップ【継続】
	H30	・待機電力のカット（未使用機器のコードを抜く）【継続】 ・冷暖房の温度設定励行【継続】 ・カーテンによる日よけ及び冷房効果アップ【継続】
	R1	・冷暖房の温度設定励行【継続】 ・琉球朝顔による日よけ及び冷房効果アップ【継続】 ・施設内での節水の推奨

アウトカム指標（施設・事業がもたらす効用等）

施設運営業務 ※H24～	前指定末 (H27)	相談事業	月1回入会説明会を開催。
		研修事業	除草及び植木剪定講習会を町民対象に実施、各種健康講習、応急救護訓練（AED取扱い）、パソコン勉強会等を会員対象に実施。
		広報等の活用	広報みずほに会員募集及び就業開拓等の記事を掲載、会員募集チラシを全戸配布、残堀川イベント、産業まつりへの出店参加。
		地域貢献活動	小学校児童（瑞徳第三小学校）の登校時見守り活動を実施。
	H28	相談事業	月1回入会説明会を開催。
		研修事業	植木剪定講習会を町民対象に実施、各種健康講習、接遇力向上研修、パソコン勉強会等を会員対象に実施。
		広報等の活用	広報みずほに会員募集及び就業開拓等の記事を掲載、会報及び会員募集チラシを全戸配布、残堀川イベント、産業まつりへの出店参加。
		地域貢献活動	小学校児童（瑞徳町内小学校5校）の登校時見守り活動を実施。
	H29	相談事業	月1回入会説明会を開催。
		研修事業	植木剪定講習会を町民対象に実施、各種健康講習、接遇力向上研修、パソコン勉強会等を会員対象に実施。
		広報等の活用	広報みずほに会員募集及び就業開拓等の記事を掲載、会報及び会員募集チラシを全戸配布、残堀川イベント、産業まつりへの出店参加。
		地域貢献活動	小学校児童（瑞徳町内小学校5校）の登校時見守り活動を実施。
	H30	相談事業	月1回入会説明会を開催。
		研修事業	植木剪定講習会を町民対象に実施、各種健康講習、接遇力向上研修、パソコン勉強会等を会員対象に実施。
		広報等の活用	広報みずほに会員募集及び就業開拓等の記事を掲載、会報及び会員募集チラシを全戸配布、残堀川イベント、産業まつりへの出店参加。
		地域貢献活動	小学校児童（瑞徳町内小学校5校）の登校時見守り活動及び町内主要道路歩道の清掃活動を実施。
	R1	相談事業	月1回入会説明会を開催。
		研修事業	植木剪定講習会を町民対象に実施、各種健康講習、接遇力向上研修、パソコン勉強会等を会員対象に実施。
		広報等の活用	広報みずほに会員募集及び就業開拓等の記事を掲載、会報及び会員募集チラシを全戸配布、残堀川イベント、産業まつりへの出店参加。
		地域貢献活動	小学校児童（瑞徳町内小学校5校）の登校時見守り活動を実施。

その他

		前指定末 (H27)	H28	H29	H30	R1	R2	
建設経費（元利返還費用）	建設費	147,334,950	147,334,950	147,334,950	147,334,950	147,334,950		円
	償還利息	0	0	0	0	0		円
利用者1人あたりの経費 （指定管理料等及び指定管理料等＋建設経費）	利用者数	1,774	2,325	2,344	2,506	2,186		人／年間
	管理経費または指定管理料等	1,352,000	1,352,000	1,332,000	1,332,000	1,332,000		円
	管理経費または指定管理料等／人	762	582	568	532	609		円／人
	（管理経費または指定管理料＋建設費）／人	83,815	63,951	63,424	59,324	68,009		円／人
修繕費（協定等に基づく指定管理者負担上限額：20万円／年）	指定管理者が行なった修繕	件数	1	1	1	0	1	件
		金額	12,960	669,600	6,480	0	13,200	円
	内容	ロビー照明スイッチ修繕		倉庫シャッター修繕	廊下照明スイッチ修繕		倉庫シャッター不具合点検	
		件数	1	0	0	0	0	件
	町が行なった修繕	金額	205,200	0	0	0	0	円
		内容	制御盤ローテーション外修繕			0	0	0
立ち入り検査状況	協定書による立入検査	0	0	0	0	0		回／年
	立入検査	12	12	12	12	12		回／年
遵法検査 ・法で定められている場合、回数を記載。 ・それ以外の場合、法定外と記載。また、施設独自で同様の検査・指導を受けている場合は、その旨を記載。遵法検査	消防設備点検（法定年2回）	2	2	2	2	2		回／年
	自動ドア（法定外）	2	2	2	2	2		回／年

総括

		H28	H29	H30	R1	R2		
経費比較 (指定前と指定後) ※実経費では、「職員の投入実態」及び「物品の提供実態」を除外	算定	指定後	1,352,000	1,332,000	1,332,000	1,332,000		円
		前指定末 (H27)	1,352,000	1,352,000	1,352,000	1,352,000		円
		比較	0	-20,000	-20,000	-20,000		円
	実経費	指定後	1,352,000	1,332,000	1,332,000	1,332,000		円
		前指定末 (H27)	1,352,000	1,352,000	1,352,000	1,352,000		円
		比較	0	-20,000	-20,000	-20,000		円
評価	前指定末 (平成27年度)							
1次評価 担当課	<p>指定管理を受託しているシルバー人材センターは、高齢者の就業の推進及び就業機会の拡大等各種事業に積極的な取り組みを行っている。施設利用については、健康教室や植木剪定講習会等の開催、受注した網戸・障子張替作業に使用、箱作り内職作業の拠点として施設活用を行い、利用者の利便性が図られた。</p> <p>また、全国的に会員数が伸び悩む中、前年度同様会員数が500人以上となり就業率も東京都でトップクラスに位置している。今後は、団塊の世代の知識と経験を活かした地域活動を主体とした事業、また、会員のサークル等の自主活動の支援などに幅を広げるよう指導をしていく。また、東京都の補助金メニューにもある重点推進事業の「地域課題解決・地域活性化事業」を活用すべく、家事援助サービス等新たなサービスを模索するとともに、更なる就業機会の拡大、施設運営及びその活用に努めるよう指導監督する。</p>							
2次評価 指定管理者選定委員会	<p>【主な効果】 高齢者の就業の推進及び就業機会の拡大等各種事業に積極的な取組を行っている。就業率も高く施設の管理運営も適正に行われている。</p> <p>【主な指摘】 団塊の世代の知識と経験を活かした地域活動を主体とした事業等、更なる就業機会の拡大と、引き続きモニタリングを積極的に行い、利用者の満足度向上と施設の適切な管理運営に期待する。</p>							
評価	平成28年度 (1年度目)							
1次評価 担当課	<p>指定管理を受託しているシルバー人材センターは、高齢者の就業の推進及び就業機会の拡大等各種事業に積極的な取り組みを行っている。施設利用については、健康教室や植木剪定講習会等の開催、受注した網戸・障子張り替え作業に使用、箱作り内職作業の拠点として施設活用を行い、利用者の利便性が図られた。</p> <p>また、全国的に会員数が伸び悩むなか、前年度より微弱ではあるが瑞穂町も減少したが、就業率については前年度同様都内でもトップクラスに位置している。施設については、建設後10年目を迎え引き続き施設の延命に努め、費用の削減を図るよう指導監督を行います。</p>							
2次評価 指定管理者選定委員会	<p>【主な効果】 高齢者の就業の推進及び就業機会の拡大等各種事業に積極的に取り組んでいる。健康教室や植木剪定講習会等の開催、受注した作業、内職作業の拠点として施設を活用し、利用者の利便性が図られた。</p> <p>【主な指摘】 自立性の高い施設運営が行われている。引き続き適切な施設の維持管理と経費の節減に努め、お客様満足度アンケート調査の要望を把握し、利用者の満足度向上を期待する。</p>							
評価	平成29年度 (2年度目)							
1次評価 担当課	<p>指定管理を受託しているシルバー人材センターは、高齢者の就業の推進及び就業機会の拡大等各種事業に積極的な取り組みを行っている。施設利用については、健康教室や植木剪定講習会等の開催、受注した網戸・障子張り替え作業に使用、箱作り内職作業の拠点として施設活用を行い、利用者の利便性が図られた。</p> <p>また、全国的に会員数が伸び悩むなか、前年度より微弱ではあるが瑞穂町も減少したが、就業率については前年度同様都内でもトップクラスに位置している。施設については、建設後10年目を過ぎ、引き続き施設の延命に努め、費用の削減を図るよう指導監督を行います。</p>							
2次評価 指定管理者選定委員会	<p>【主な効果】 高齢者の就業の推進及び就業機会の拡大等、積極的な取組を行っている。健康教室、植木剪定講習会等の開催、網戸・障子の張り替えや箱作り作業の拠点として施設を活用することにより、利用者の利便性が図られ、就業率も都内でトップクラスに位置している。</p> <p>【主な指摘】 今まで積み上げてきた改善策や成果などの実績に基づき、着実に管理運営を実施したものと考える。利用者の意見や要望の把握に努めるとともに、サービスの質の向上に期待する。</p>							
評価	平成30年度 (3年度目)							
1次評価 担当課	<p>指定管理を受託しているシルバー人材センターは、高齢者の就業の推進及び就業機会の拡大等各種事業に積極的な取り組みを行っている。施設利用については、健康教室の開催、シルバーバス発行事務、箱作り内職作業の拠点として施設活用を行い、利用者の利便性が図られた。</p> <p>また、全国的に会員の減少が叫ばれている中、前年度より瑞穂町も会員数が減少したが、就業率については前年度同様都内でもトップクラスに位置している。現在、女性会員は会員全体の約25%であるため、女性会員の増強を柱に、会員増強を図るよう指導監督を行う。</p> <p>施設については、建設後13年目を過ぎ、引き続き施設の延命に努め、費用の削減を図るよう指導監督を行う。</p>							
2次評価 指定管理者選定委員会	<p>【主な効果】 高齢者の就業の推進及び就業機会の拡大等、積極的な取り組みを行っている。健康教室の開催、シルバーバス発行事務、箱作り内職作業の拠点として施設を活用することにより、利用者の利便性が図られ、都内でもトップクラスの就業率となっている。</p> <p>【主な指摘】 施設を利用した多様な研修の実施により、施設の有効活用が図られている。引き続き快適な施設の利用環境の提供と同時に、高齢者の就業促進に向けた取り組みに期待する。</p>							
評価	令和元年度 (4年度目)							
1次評価 担当課	<p>指定管理を受託しているシルバー人材センターは、高齢者が就業や地域貢献活動を通じて社会参加し、生きがいなどの充実を図るための事業を展開するとともに、就業機会の拡大及び会員確保を目指している。施設利用については、住民向けに毎月のシルバーバス発行業務をはじめ、会員による内職や網戸・障子張り替え作業の拠点として施設活用を行い、利用者の利便性が図られた。全国的には会員の減少が叫ばれている中、普及啓発活動を行い前年度比では一人の増となった。今後は会員確保や利用者の利便性について、積極的な施策を図るよう指導監督を行っていく。施設については、建設後14年目を過ぎ、引き続き施設の延命に努め、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を実施し、施設の有効活用を図るよう指導監督を行っていく。</p>							

<p>2次評価 指定管理者選定委員会</p>	<p>【主な効果】 毎月初めに、住民向けのシルバーバス発行業務や、会員による網戸・障子張り替え作業等の拠点として、施設活用を行うことで利用者の利便性も図られた。また、3月に実施予定だった「町内主要道路歩道の清掃活動」が、コロナウイルス感染防止のため中止となったが、今後も継続して実施することを期待する。</p> <p>【主な指摘】 定年後の雇用延長制度導入に伴い、入会者が減少傾向にある中、普及啓発活動を行い、会員数は前年度比で一人増となった。また、都内でトップクラスの就業率を維持するための取組と、会員数の増加に向けた取組に期待する。</p>
----------------------------	--